

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
関係法規1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	4期	藤木 裕樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	保健医療福祉と柔道整復の理念			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師法に定める免許に係る要件、業務に関わる罰則、施術所の規定、広告規制の問題などを解説する。このほか、医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法、薬剤師法、医療法等に係る関係法規を解説する。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師法を理解し免許関係の規定を把握することで柔道整復師として適正な業務を運用できるようにすることが目標となる。					
<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ol style="list-style-type: none"> <li>法の意義・体系を把握することで法律、施行令、施行規則とのつながりを把握できる。</li> <li>柔道整復師法の目的、柔道整復師法を学習することで業務の礎を築くことができる。</li> <li>柔道整復師免許に関する様々な申請手続きを把握し法の義務を果たす。</li> <li>広告制限、名称制限、業務独占についての知識を習得することで業務の運用に活かす。</li> <li>罰則項目を把握することで、民間資格者との相違点について説明することができる。</li> </ol>					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
「関係法規」教科書最新版 ①参考資料(基本的に冊子で配布) ②問題資料(基本的に冊子で配布)							
受講上の注意							
疑問、解決できない事について必ず質問すること。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	0
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	法の意義・体系、柔道整復師および柔道整復に関する法規 柔道整復師と患者の権利			序論	資料と筆記用具		
第2回	柔道整復師法の目的、柔道整復師・施術所の定義			1章総則	資料と筆記用具		
第3回	柔道整復師免許に関する・要件・申請・手続			2章免許	資料と筆記用具		
第4回	柔道整復師免許に関する・要件・申請・手続 施術所			2章免許 5章施術所	資料と筆記用具		
第5回	柔道整復師の国家試験と業務			3章国家試験 4章業務	資料と筆記用具		
第6回	広告・名称の制限、罰則			6章雑則 7章罰則	資料と筆記用具		
第7回	柔道整復試験機関・柔道整復登録機関			8章各機関	資料と筆記用具		
第8回	免許の特例			9章附則	資料と筆記用具		
第9回	試験				資料と筆記用具		
第10回	試験解説				資料と筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院開業から業務運営に携わり、管理者の観点から、柔道整復師法とその関連法について講義する。							
メールアドレス							
fujiki-t@nihonisen.ac.jp							